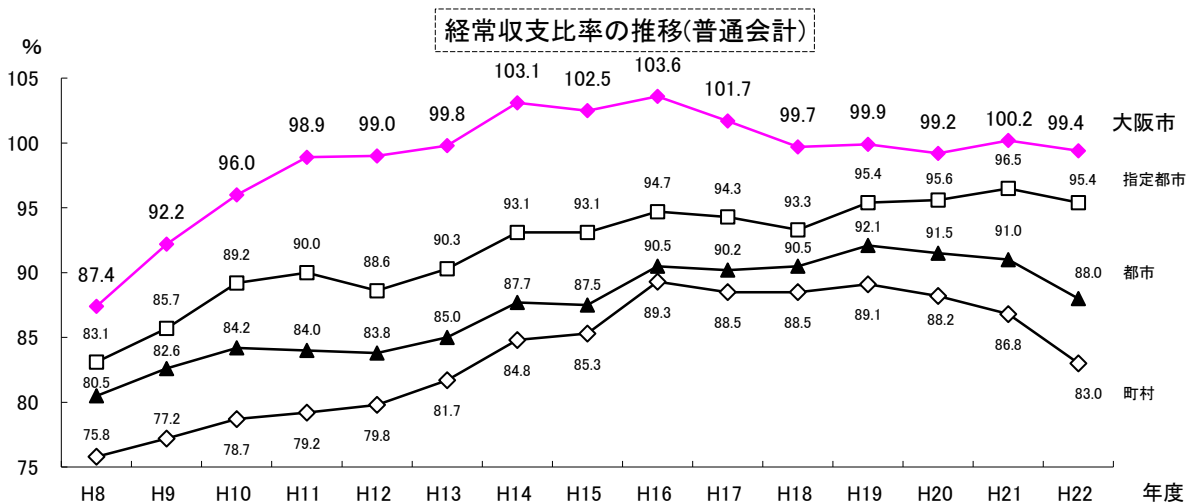


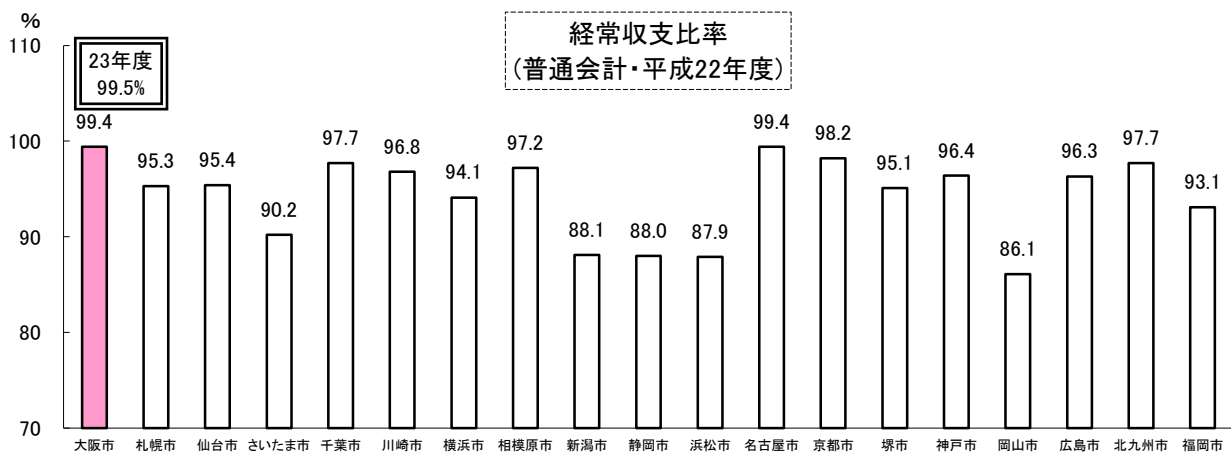
② 経常収支比率

- 経常収支比率とは、地方税、地方交付税、譲与税・交付金などの経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数で、財政構造の硬直度を表すものさしとされているものです。
- 経常収支比率が高いということは、義務的経費以外に使える財源に余裕がないことを示し、財政構造の弾力性が低いこととなります。
- 本市においても、人件費の縮減に努めるなど歳出全般にわたり見直しを行ったものの、市税収入が低い水準のなか、生活保護費などの扶助費や市債の償還のための公債費といった経常的経費の増大により、高い水準となっています。



資料：平成24年度総務省地方財政白書〔平成22年度の地方行政〕

- 本市は、扶助費が高いため、経常収支比率は指定都市のなかでも最も高い数値となっています。



資料：総務省HP「平成22年度地方公共団体の主要財政指標一覧」